

微生物殺菌剤

# インプレッション

インプレッションは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

水和剤

■有効成分：バチルス スズチリス (Bacillus subtilis) Qst-713株 (生芽胞) 5×10<sup>9</sup>CFU/g以上

## 野菜類の うどんこ病・灰色かび病に!

トマト・ミニトマトでは葉かび病も含めた同時防除が可能!



パッケージが  
新しく  
なりました。

包装も  
200g×20に  
変わりました。

### インプレッションの特長

1. 散布回数の制限なし
2. 特別栽培農産物生産に使用可能
3. 薬剤耐性菌対策に有効
4. 有効成分は納豆菌近縁種の微生物です
5. ミツバチ等の訪花昆虫や天敵類に対する影響が少ない



# インプレッション水和剤

## 上手な使い方

- 1 必ず病気が発生する前に散布してください。
- 2 10℃以上の温度を維持してください。
- 3 ムラなく葉裏までしっかり散布してください。
- 4 効果を持続させるため7～10日毎に散布してください。



## 適用病害と使用方法

2009年2月現在

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バチルスズブチリスを含む農薬の総使用回数	
野菜類	うどんこ病	500倍	—	発病前から発病初期まで	—	散布(上澄液) <b>NEW</b>	—	
	灰色かび病	500～1000倍						
トマト ミニトマト	葉かび病	500倍	—			散布		—
ししとう	黒枯病							
食用ゆり	葉枯病	500倍	—			無人ヘリコプターによる散布		—
にら	白斑葉枯病							
かぼちゃ	うどんこ病	16倍	3.2ℓ/10a			散布		—
ぶどう、ホップ、ハスカップ	灰色かび病	500倍	—					
もも、ネクタリン	灰星病					—		散布(上澄液)
おうとう、すもも								
ブルーベリー	斑点病	—	—	散布	—			

育苗期～栽培前半は  
化学農薬の散布回数に  
カウントされない  
インプレッションを!

- ◆化学農薬の散布回数削減・耐性菌対策はここからスタート。
- ◆散布回数に制限がありません。
- ◆イザという時に化学農薬(の使用回数)を取っておきましょう。

状況に応じて  
化学農薬と上手に  
組み合わせましょう!

### 効果・薬害等の注意

- 本剤の有効成分は生菌であるので、散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。また、開封後は密封して保管し、できるだけ早く使い切ってください。
- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、良くかきまぜてから散布してください。
- 本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当っては湿気に注意し、特に使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵してください。
- 本剤は他剤と混用すると十分に効果が発揮されない場合があるので、注意してください。
- 本剤は保護作用が強く予防効果が主体なので、発病前から発病初期に7～10日間隔で散布してください。
- 本剤を使用する場合、低温下(約10℃以下)では有効成分の活動が低下し効果が劣るので、低温が予想される場合には使用を避けてください。
- 収穫期間近の散布、特におうとうでは着色期以降の散布では果実に汚れを生じる恐れがあるので注意してください。
- ブルーベリーの着色始期以降の散布では、果実の汚れあるいは果粉の溶脱する恐れがあるので、使用を避けてください。
- おうとうの着色期以降の散布では果実に汚れを生じる恐れがあるので、上澄液を散布してください。
- すももの散布時の汚れは上澄液を散布すれば軽減されますが、着色期以降の散布では果粉が溶脱する恐れがあるので使用を避けてください。
- 上澄液の調製方法は、先ず所定の散布液濃度より10倍濃い薬液を調製し、よく攪拌してください。これを3～5分間程度静置後、底に溜まった沈殿物が入らないように注意しながら上澄液を採取する。採取した上澄液を10倍に希釈して散布液としてください。

- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
  - 1) 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
  - 2) 散布に当っては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
  - 3) 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他の散布装置の十分な点検を行ってください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

### 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください(刺激性)。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。
- 作業後は直ちに身体を洗い流し、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けてください。
- 夏期高温時の使用を避けてください。
- 保管・・・密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した所に保管してください。



●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は園場などに放置せず、適切に処理してください。

この印刷物の記載内容は2009年2月現在のものです。

09.02.10,000(1)



**サンケイ化学株式会社**

本社 〒891-0122 鹿児島市南栄2-9 ☎099(268)7588(代)

九州北部営業所 〒841-0025 佐賀県鳥栖市曾根崎町1154-3 ☎0942(81)3808

宮崎事務所 〒880-0056 宮崎県神宮東3-6-19 ☎0985(25)7051